### /hakonetravelnews.net/

# 1/

### 

箱根観光情報新聞 2025秋号第一版 令和7年9月18日発行 企画制作 箱根観光情報研究会

協力

箱根モビリティサービス㈱ 制作責任者:美馬 哲 発行部数:700部

が楽しめる古いお寺がある。

箱根の仙石原に五百羅漢

本山總持寺。 大本山永平寺と横浜市の大 道元によって広められた。 つで、日本では鎌倉時代に 洞宗は中国の禅宗五家の 曹洞宗龍虎山長安寺だ。曹 日本の総本山は福井県の

の対象だった。地獄を信仰 涌谷は大地獄と呼ばれ信仰 (一三五六年)。当時、 長安寺の建立は延文元年 時のもので、現住職の鈴木 太源和尚は第二六代目。 駒澤大学文学部歴史学科 現在も残る本堂は開山当

が始まり。明暦元年(一六 する人たちによって大涌谷 の仙石原に姥子山長安寺と んろういつ)大和尚が現在 たことから機山労逸(きざ 五五年)、お堂が老朽化し 小さなお堂が建立されたの の麓に姥子山長安寺として て開山した。

を卒業し、

られる人の癒しの場になる てきた。昭和六〇年(一九 教員生活を経て昭和五四年 弟子やその姿を象った像の お釈迦様に従った五百人の 悟りを開いた高僧のことで、 山を作り始めた。羅漢とは ようにと石仏を置いて羅漢 八五年)から、お詣りに来 以上の間、このお寺を守っ ことは五百羅漢と呼ばれる。 (一九七九年)から四〇年 永平寺で修業後

五〇〇体。 檀家でなくとも れた札が掛けられる。 かれ、本堂には名前が書か 主になると石仏が境内に置 施主にはなれるそうで、施 た石仏は二八〇体。目標は 現在までに境内に置かれ

姿の石仏に出会えるユニー 四人の作家に製作を依頼し 弟子によって製作されるが、 ているので、様々な表情や 同じ顔にならないように 職人や作家、もしくはその 普通、五百羅漢は一人の





お薦めだ。 楽しめるので、秋の散策に 旬から一一月一杯は紅葉も 非、合わせてお詣りしたい。 利益で知られる豊川稲荷の 社もある。時間があれば是 み交わす二人組、仲間の肩 と並ぶ光景が視界に入る。 会え、心が癒されるはずだ。 行くたびに新しい石仏と出 たたきをする男性、両手を **参道にゆっくり進もう。 広げて空を見上げる人など** なお、長安寺は一○月下 山の上には商売繁盛の御 お辞儀をする人や酒を酌 小高い山に石仏がずらり お参りの後は本堂左側の



ラスの森美術館だ。 める美術館がある。箱根ガ グラスと庭園の散策を楽し チアン・グラス専門の美術 八月八日、日本初のヴェネ 平成八年 (一九九六年)

のヴェネチアの街並みを思 り箱根を代表する美術館だ。 入館すると目の前に中世

館三○周年を迎える文字通

ラスが美しい。

館として開館、来年には開 仙石原にヴェネチアン・ スが幅一〇メートル、高さ の回廊・コッリドイヨ」だ。 わせる風景が飛び込んでく ばめられている。陽に当たっ 九メートルのアーチに散り る。正面に見えるのは て風で揺れるクリスタルガ 十六万粒のクリスタルガラ 光

なオブジェが展示されてい リスタルガラスを使った様々 この美術館の庭園にはな

クな羅漢山となった。 奥にある。歴史を感じさせ 最初にお参りしよう。 ぐると境内だ。お寺なので る石柱門を過ぎ、山門をく 長安寺は仙石原交差点の 本堂前の賽銭箱に賽銭を

なので手を叩くのはNG。 れて手を合わせる。お寺 属に乗しめる領域がリブク等等市舶

ラスで表現される。



すきの風景がクリスタルガ 示エリアがある。 もクリスタルオブジェの展 廊・コッリドイヨ」の他に いるのが特徴だ。「光の回 夏には紫陽花、秋にはす

の光だけで輝きを表現して てクリスタルガラスと自然 るが、電飾を使わず、すべ

葉が楽しめる。 小径」では一一月頃には紅 場するのもこの場所だ。 ルのクリスマスツリーが登 また、庭園奥の「紅葉の 一月には高さ一〇メート

た作品はどれもため息が出 るほどだ。 いる。美しく精巧に造られ た様々な作品が展示されて が美術館。ガラスで造られ ヨ」を渡って入館する建物 「光の回廊・コッリドイ

ものだが、一〇〇年以上の グラス」と呼ばれる作品。 しているのは「風にそよぐ 特に本紙編集長がお薦め 一八九五年に制作された 細いステム (脚部)







季節によって展示は変更さ

が、美術館の館内でもコン

お客様が立寄るため、早い

インの手続きの際に宿泊の

時間の利用がお薦めらしい。

サートが開かれている。ホー

開催される生演奏は有名だ

なお、カフェで一日六回

## しのないようにして欲しい。

〜ランチ営業開始〜 河屋cafe

ボリュームでこの値段。 とっても美味しくて、この 膳」と「鹿肉ギーマーカレー」 ンチ営業中」の幟を見つけ レー」。本紙編集長は「ラ 御膳」と「鹿肉キーマーカ 満足だったとコメント。 ○円 (税込み)。 を堪能。どちらも一、 めながら「御殿鶏釜めし御 て、二回訪問。外輪山を眺



古い宿がある。二〇二〇年 ンジをカフェとしてオープ 涌谷には一八八三年創業の に藤田観光株式会社が取得 一〇二一年には本館のラウ た箱根小涌園三河屋旅館。 箱根の中心に位置する小



が味わえる。

としたイタリア旅行の気分

くおり、庭園と合わせてちょっ

には美しい壁画も表現され

大きな坏身(つきみ)を支

ダー。赤と黒に塗られた桝

リーム、白玉、クッキーの で提供されるパフェ。生ク

下は抹茶のプリン。こちら

ついにランチ営業を開始。 メニューは「御殿鶏釜めし ンしたのだが、今年七月



一回目は抹茶パフェもオー HP開設一周年~

業にも慣れ、今年一月中旬 毎日でしたが、少しずつ作 ページ開設一周年を迎えま 続できるのか自問自答する 入やデータの更新にも四苦 行い、観光情報にアクセス には大幅なリニューアルを した。開設当初は画像の挿 七月二〇日(日)にホーム 八苦する状況で、活動が継 箱根観光情報新聞は今年

詳細をお伝え出来ない場合 紙面の都合上、お店の場所 限り正確に情報をお伝えす がございます。お手数をお や営業日、営業時間などの るよう努力しておりますが 前にお店や施設のホームペー かけしますが、訪問される 本紙ではお客様にできる

ジなどで営業日、営業時間 紙ホームページにアクセス の思い出などを紹介した本 過去の記事や画像、編集長 などをご確認くださいます ようお願いいたします。 なお、左記QRコードで



箱根観光情報新聞QRコード



できるのでお試しください。

箱根に観光に来たけれど どこを見たらいいかわからない。」 「効率的に観光したいけれど・・・。」 とお悩みのあなた 箱根観光は登山ハイヤーがお薦めです。

今すぐ 0120-148-512(携帯0K)へ



を発信してまいりますので す。今後も箱根の観光情報 アクセス数が大幅に増加。 のページを新設。その後、 とともに「編集長の思い出」 しやすいページに改修する どうか宜しくお願いします。 クセス人数は延べ約三六、 月一五日からの一年間のア データが確認できる昨年八 一二一、六〇〇件に上りま 八〇〇名、アクセス件数は

時三〇分) だが、チェック 時~一五時まで(LO一四 も美味しかったとのこと。

なお、カフェ営業は一